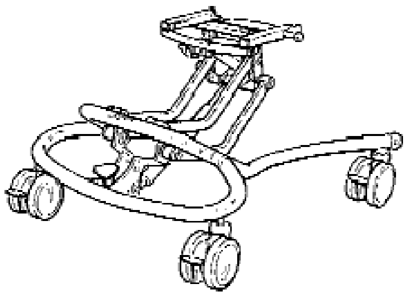
R82

frames™

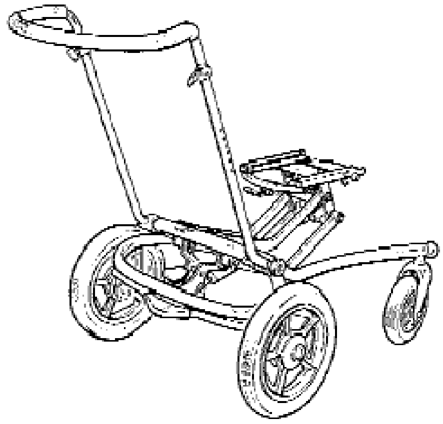
取扱説明書

輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒530-0015　大阪市北区中崎西１丁目４番２２号　梅田東ビル
ＴＥＬ(06)6371-0104　ＦＡＸ(06)6371-6400

＜目次＞



High-low indoor frame



High-low outdoor frame

PANDA FUTURA

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品は快適な座位保持機能を必要とするお子様向けにつくられたシーティングシステムです。屋内・屋外いずれにもご使用頂けます。　ご使用場所・目的に応じフレームをお選びください。

屋内使用　フロアーフレーム
　　　　　High-Low フレーム（屋内用）

屋外使用　High-Low フレーム（屋外用）
　　　　　車椅子フレーム
　　　　　バギーフレーム

ご使用前に本取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解してください。　また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂きますようご活用ください。

＜安全性＞

本製品は CE マークを取得しております。これはヨーロッパの安全規格をを満たしている事を証明しております。
当製品は、日常のご使用状態において 5 年の耐久性があります。以降のご使用の際は、一度お買い上げ頂いた販売店でメンテナンスをお受け頂くことをお勧めします。

⚠	本製品を改造又は R82 社純正部品以外の部品をご使用の際は貼付されております CE マークを外してください。

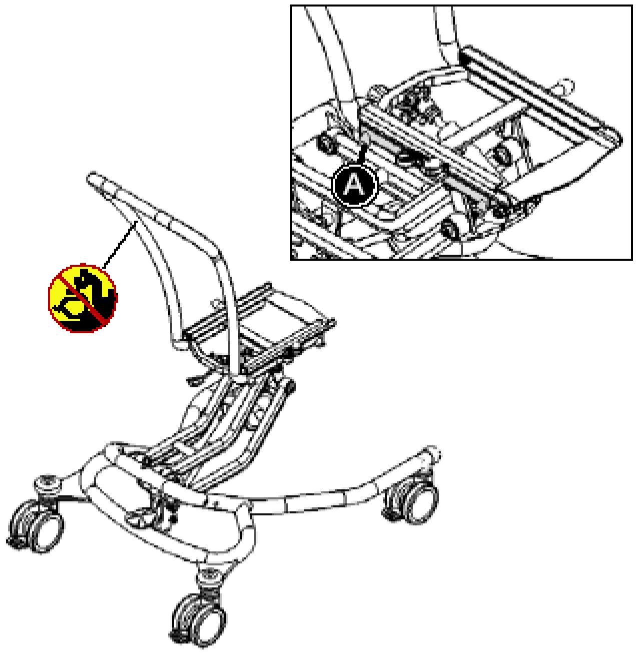
⚠	Panda Futura は一人乗りです。二人以上お乗りにならないでください。

⚠	本製品をご使用中にはお子様から離れないでください。 誤ったご使用方法はお子様にお怪我等の危険を伴う恐れがございますので、大人の方の監督下で行ってください。 また常に固定や調節方法が正しく行われているか等フィッティング、安全性をチェックしてください。

ℹ	最新の取扱説明書については、下記ホームページでご覧いただけます。www.r82.com

＜保証規定＞

本製品は、使用している材料又は製造工程上の欠陥に対して、お買い求め頂いた日から向こう 1 年間の品質保証がなされております。(溶接不良等金属破損の場合は 5 年間）この品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定されたもので、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。そして、これは最初の原購入者に限定されます。万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行います。
この保証は R82 社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、また認定を受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。



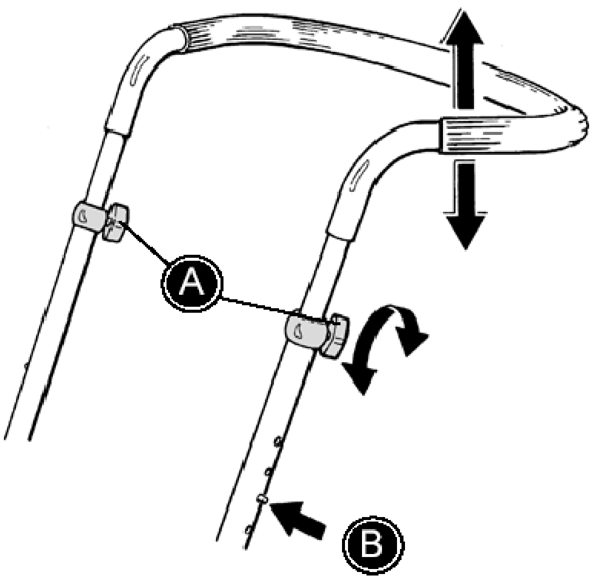
＜屋内用プッシュ・ブレス＞

<u>奥行き調整</u>

フレームの両側にあるネジ(A)を緩めて、プッシュ・ブレスの奥行きを調節してください。
プッシュ・ブレスは２段階で調節が可能です。「カチッ」と音がする所でセットしてください。

正しい位置で締めてください。

> ⚠ **階段、縁石等でのご使用時には、プッシュ・ブレスを持上げないでください。　その際は介助者２人で抱え上げ、決してプッシュ・ブレスを使って上げないでください。**



＜屋外用プッシュ･ブレス＞

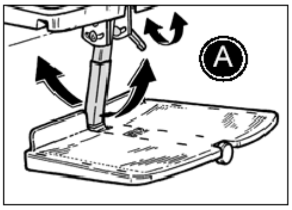
<u>高さ調節</u>

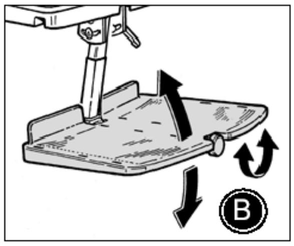
調節用ハンドル（A）を緩め、ロックピン（B）を押して高さ調節を行ってください。

＜プレート式フットレスト調節＞

<u>**膝関節角度調節**</u>

調節用ハンドル（A）を緩め、角度調節を行ってください。



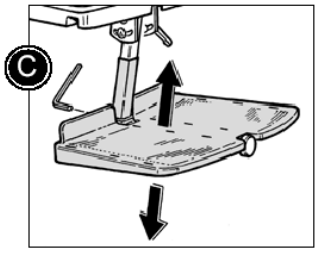


<u>**足関節角度調節**</u>

調節用ボルト（B）を左に回し緩め、ご希望の位置で右に回して固定してください。

<u>**高さ調節**</u>

６ｍｍレンチで調節用ボルト（C）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

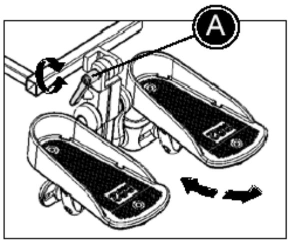


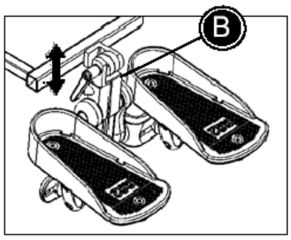
> **フットレストを踏み台としてご使用にならないでください。**

＜サンダル式フットレスト調節＞

<u>**膝関節角度調節**</u>

調節用ハンドル（A）を緩め、角度調節を行ってください。



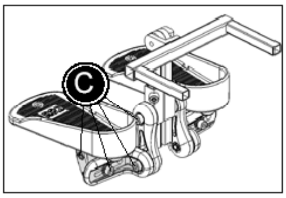


<u>**高さ調節**</u>

６ｍｍレンチで調節用ネジ（B）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

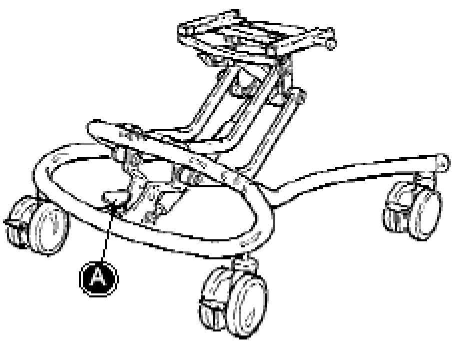
<u>**足関節角度・幅・奥行き調節**</u>

調節用ネジ（C）を緩め、各部調節を行ってください。（フットプレートの高さ調節も行う事ができます）



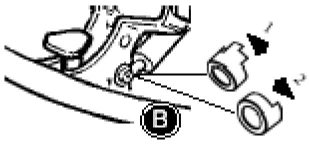
> **フットレストを踏み台としてご使用にならないでください。**

<High-Low フレーム（屋内用）>



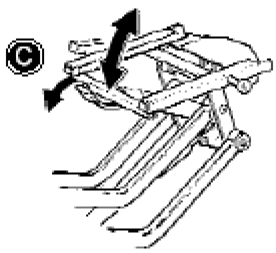
このフレームは床面からテーブルの高さまでの高さ調節が可能です。フットペダルを踏みと(A)、高さ調節が行えます。フットペダルにはセキュリティーロック機能が付いています(B)。ロックを左へ回すとロックされ、右へ回すと解除されます。

（ティルトリクライニング）
調節用レバーを下へ押すとシートの角度が変えられます(C)。



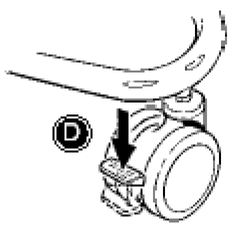
> ⚠ 調節用レバーにはセキュリティーロックが装備されています。調節前に解除してください

> ⚠ 安全にシート角度を変えていただくために、片方の手でしっかり握って後方に倒してください。レバーから手を離すとシートはとまります。調節後はロックしてください。



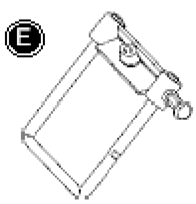
四輪すべてにブレーキが付いています(D)。

お子様をシートに乗せながらでも高さ調節は可能です。



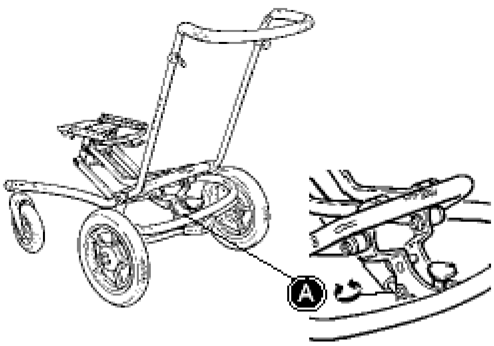
> ⚠ High-Low フレーム（屋内用）は屋内でのみお使いいただけます。

> ⚠ High-Low フレームに Panda Futura サイズ４を搭載する場合には、より安全にご使用いただくために転倒防止バーのご使用をお勧め致します。

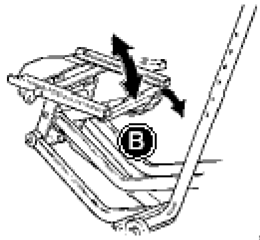


＜High-Low フレーム（屋外用）＞

このフレームは床面からテーブルの高さまでの高さ調節が可能です。フットペダルを踏むと(A)、高さ調節が行えます。フットペダルにはセキュリティーロック機能が付いています。

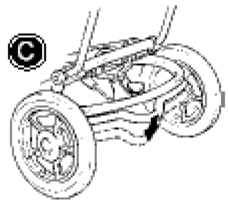


（ティルトリクライニング）
調節用レバーを下へ押すとシートの角度が変えられます(B)。



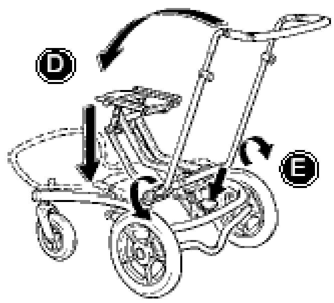
> ⚠ 調節用レバーにはセキュリティーロックが装備されています。調節前に解除してください

> ⚠ 安全にシート角度を変えていただくために、片方の手でしっかり握って後方に倒してください。レバーから手を離すとシートはとまります。調節後はロックしてください。

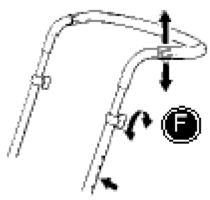


ブレーキは足で操作してください(C)。
注意：日本では走行時の安全性を重視するため、
パーキング機能付ハンドブレーキを採用しております。

フレームは簡単に折り畳みができます(D)。フットペダルを踏むと(A)、シートを床面まで下げることができます。そして両サイドのハンドルを緩めると(E)、ハンドブレスが折り畳むことができます。プッシュブレスは高さ調節が可能です(F)。

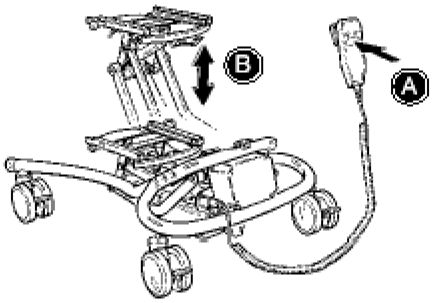


> ⚠ High-Low フレーム（屋外用）は、お子様を乗せたままでのお車の移動は行わないでください。



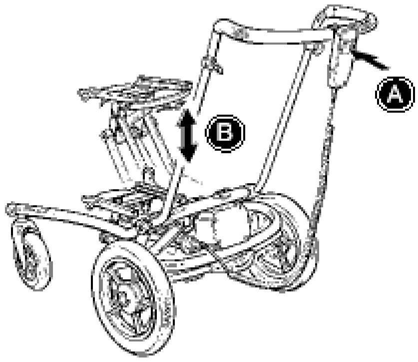
> ⚠ High-Low フレームに Panda Futura サイズ４を搭載する場合には、より安全にご使用いただくために転倒防止バーのご使用をお勧め致します。

＜電動 High-Low フレーム（屋外用）＞



High-Low フレームは、屋内用・屋外用ともに電動昇降タイプをお選びいただくことができます。コントローラーを使い(A)、シートの高さを調節してください。

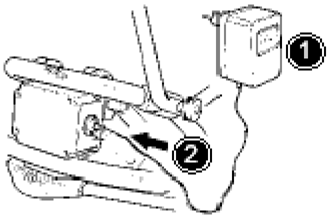
⚠ シートを一番後方に傾けている間は、低い位置でのフレームのご使用はお控えください。（指などを巻き込むおそれがありますので十分ご注意ください。）



充電方法については、下記の手順で行ってください。

1)付属の充電器をコンセントにつなげてください。
2)バッテリーボックスからアクチュエーターに差しているワイヤーを外してください。
3)充電器からのワイヤーをバッテリーボックスへ差してください。
4)バッテリーを 8～12 時間充電してください。

⚠ アクチュエーターを長くお使いいただくために、ご使用の前には 12 時間ほどコンセントを本線電圧につないでおいてください。



高さ調節機能を長くお使いいただくために、バッテリーは毎晩充電してください。バッテリーは過度な充電はできませんが、<u>完全には放電しないでください</u>。

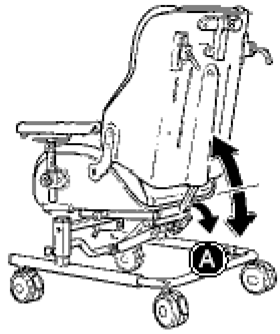
バッテリーの耐用年数は 4 年です。新しく取り付けるバッテリーは、同様の耐用年数と製造マークのものをお使いください。

⚠ 電動 High-Low フレーム（屋内用）は屋内でのみお使いいただけます。

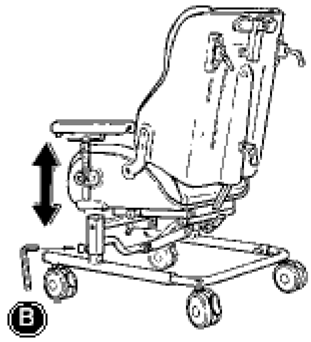
⚠ 電動 High-Low フレーム（屋外用）は、お子様を乗せたままでのお車の移動は行わないでください。

＜キャスター付フロアーフレーム（屋内用）＞

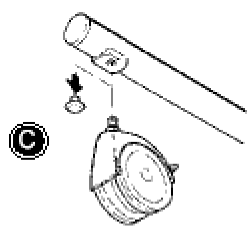
調節用レバーを軽く押し下げてシートを傾けてください(A)。ご希望の位置でハンドルから手を離すとシートはとまります。



（高さ調節）付属の 6㎜ レンチを使ってネジを緩めて調節を行ってください(B)。

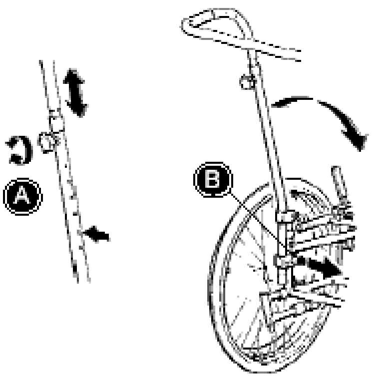


図(C)のように車輪を取付けてください。車輪はオプションです。（注：日本では標準仕様です）



> ⚠ **フロアーフレームは屋内でのみお使いいただけます。**

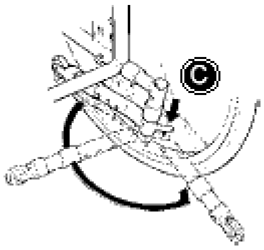
＜車椅子フレーム＞



車椅子フレームは転倒防止バーと車輪ブレーキが標準装備されております。

プッシュハンドルは高さ調節が行え(A)、ノブを引くと折り畳むことも可能です(B)。

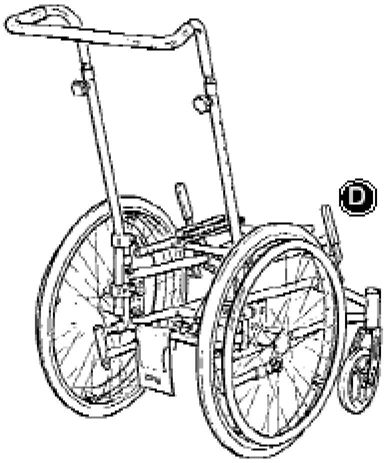
転倒防止バーは、後方にセットされている状態に有効です。図(C)のバーを軽く踏むだけで転倒防止バーの方向を変えることができ、所定の位置まで 180°動かすことができます。



車輪ブレーキは、前方に押すとロックします(D)。

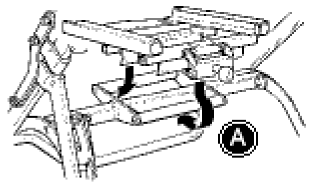
⚠ Panda Futura を搭載した車椅子フレームは、お子様を乗せたままでのお車の移動が可能です。P19 からのご使用方法を良くお読み頂き安全にご使用ください。

⚠ Panda Futura を搭載した車椅子フレームは、平らで安定した場所でお使いください。
砂浜などでのご使用はおやめください。



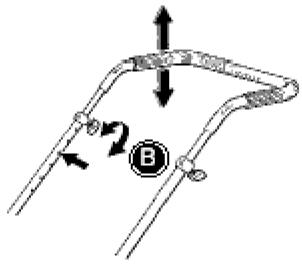
⚠ 車椅子フレームは、前後ともに最大 10㎝ の段差まで近付くことができ、10°の傾斜がある道でもめられます。傾斜面で車椅子フレームから離れる場合には、転倒防止バーをセットさせておいてください。

＜バギーフレーム＞



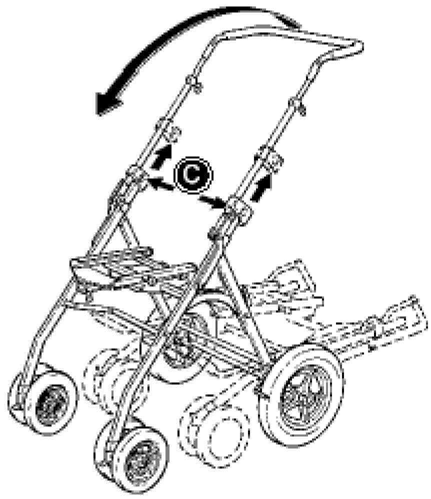
図(A)のように専用アダプターを取付けると、バギーフレームにシートを搭載することができます。

> ⚠ この作業を行う前に、アダプターがしっかり留まっているかご確認ください。



ノブを緩めると、ハンドブレスの高さが調節できます(B)。

バギーフレームは折り畳みが可能です。両サイドでロックを外し(C)、プッシュブレスを折り畳んでください。



> ⚠ フレームを折り畳む際には、留め具とフレームの間に指を巻き込まないようご注意ください。

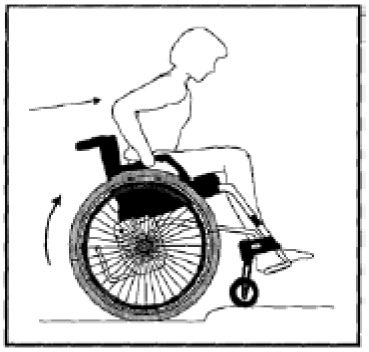
> ⚠ Panda Futura を搭載したバギーフレームは、お子様を乗せたままでのお車の移動が可能です。　P20 からのご使用方法をよくお読みいただき安全にご使用ください。

> ⚠ Panda Futura を搭載したバギーフレームは平らで安定した場所でお使いください。
> 砂浜などでのご使用はおやめください。

> ⚠ バギーフレームについての詳細は、Tiger2000 取扱説明書にてご覧いただけます。
> 取扱業者にお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。www.r82.com

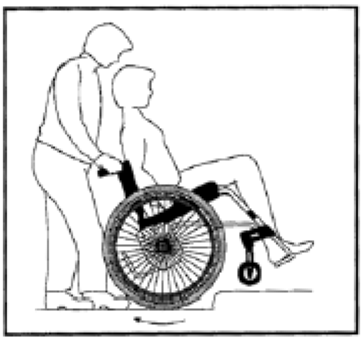
＜屋外用フレーム　走行（その１）＞

障害物や段差（最大 10㎝）をのぼる



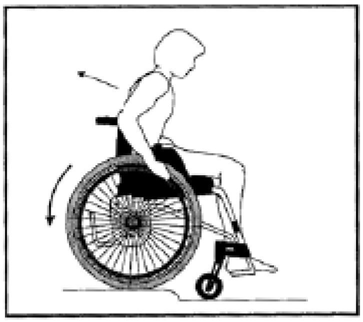
前進
操作の難しい方は行わないでください。

・転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
・段差に向かって前進してください。
・後輪でバランスを取り、地面から前輪を上げてください。
前へ屈み、ハンドリムを強く押してください。



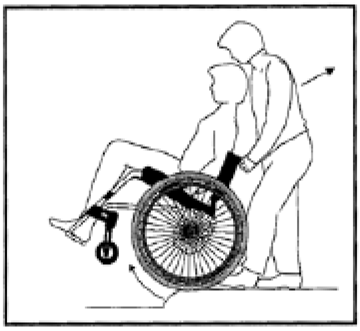
介助者付きの前進

・転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
・段差に向かって前進してください。
・イスを後ろへ傾け、段差の上まで前輪を上げてください。
・ハンドルを持ち上げ、後輪を段差の上まで押してください。



後進
この操作は、低い段差以外では行わないでください。フットプレートの高さにもご注意ください。（操作の難しい方は絶対に行わないでください。）

・転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
・段差に向かって後進してください。
・前へ屈み、ハンドリムを強く引いてください。



介助者付きの後進

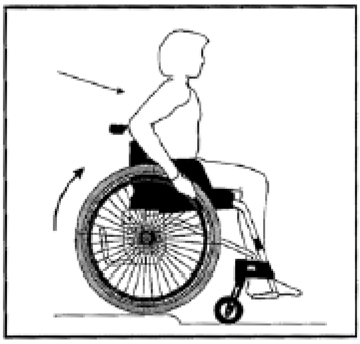
・転倒防止バーが外されていることを確認してください。
・段差に向かって後進してください。
・イスを後ろへ傾け、前輪を持ち上げてください。
ハンドルを持ち上げ、イスを引き上げてください。
段差を乗り越えた後、前輪を下ろしてください。

＜屋外用フレーム　走行性（その２）＞

障害物や段差（最大 10㎝）をおりる

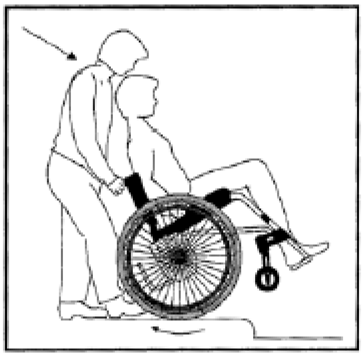
前進

この操作は、Panda に慣れていない方は行わないでください。



- 転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
- 段差に向かって前進してください。
- ハンドリムを強く引き、車輪すべてが地面に着くまで前へ進んでください。

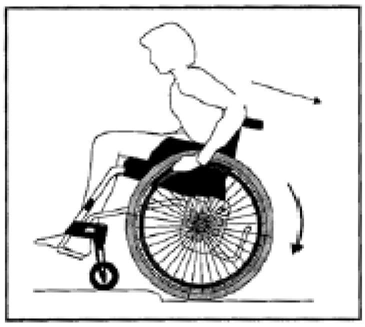
介助者付きの前進



- 転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
- 段差に向かって前進してください。
- イスを後ろへ傾け、前輪を上げてください。
- 十分に注意して段差まで押し、前輪を下ろししてください。

後進

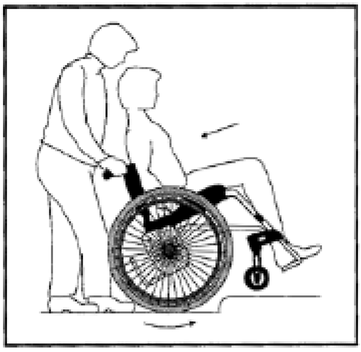
操作の難しい方、および 10㎝ 以上の段差がある場合には行わないでください。



- 転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
- 段差に向かって後進してください。
- 前へ屈み、十分に注意して段差を下りてください。

> ⚠ **この操作中に傾くと大変危険ですので十分ご注意ください。**

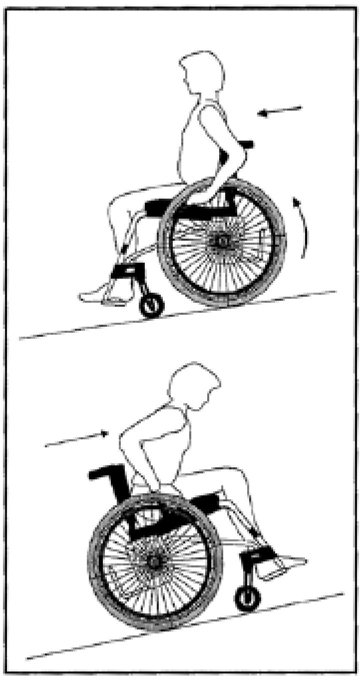
介助者付きの後進



- 転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
- 段差に向かって後進してください。
- 椅子を後ろに傾け、前輪を持ち上げてください。
- ハンドルを持ち上げ、椅子を引上げてください。
- 注意して段差を降りてください。
- 前輪を下ろしてください。

＜屋外用フレーム　走行（その３）＞

坂道（傾斜面）の上り下り



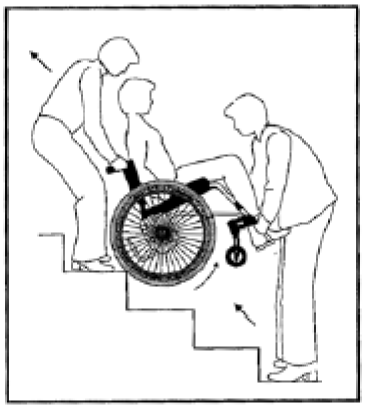
下り：
イスに対してまっすぐ座ってください。ブレーキではなく、ハンドリムでスピードを調節してください。

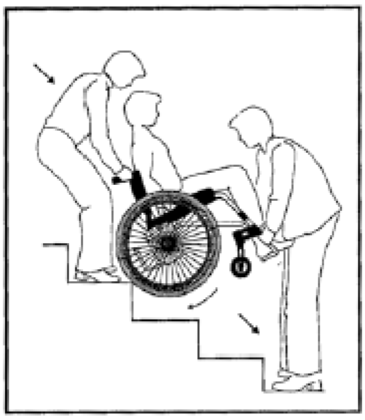
上り：
前へ屈み、重心位置を調節してください。

坂道の途中での方向転換はなるべくお控えください。

イスの上では、できるだけまっすぐ座ってください。

より安全にご使用いただくために、介助の方が操作されることをお勧め致します。





階段を上る

⚠ 一人では行わないでください。

⚠ 介助があっても、エスカレーターには決して入らないでください。

介助者付きの後進

・転倒防止バーが解除されていることを確認し、あわせてハンドルがしっかり締められているかも確認してください。
・最初の一段目まで後進してください。
・イスを傾け、同時にイスを一段引き上げてください。後輪でバランスが取れているか確認してください。
・最後の階段からイスを引き上げて、前輪を下ろしてください。

階段を下る

⚠ 一人では行わないでください。

⚠ 介助があっても、エスカレーターには決して入らないで下さい。

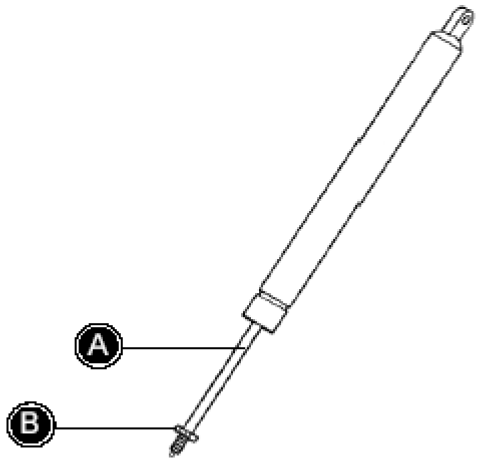
介助者付きの前進

・転倒防止バーが解除されていることを確認してください。
・最初の一段目まで進み、イスを傾けてください。
・同時にイスを一段下ろしてください。後輪でバランスが取れているか確認してください。
・最後の階段を下りてから、前輪を下ろしてください。

⚠ 介助者が２名いる場合には、一人は前輪を持ち上げて介助してください。

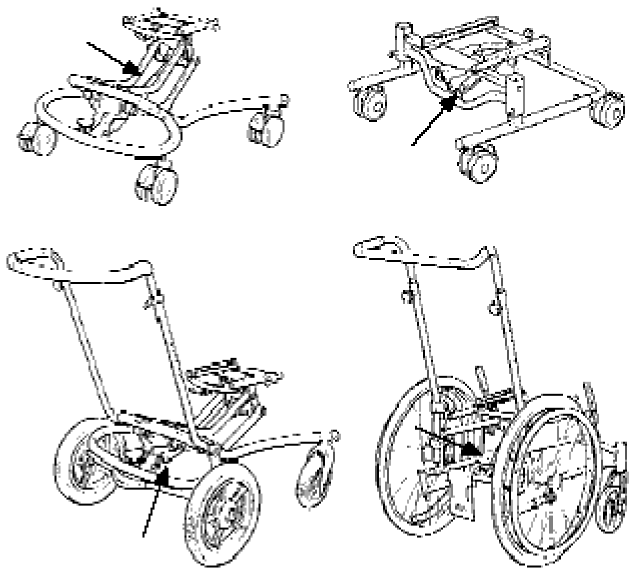
⚠ 介助者は、上側の介助者ではなく下側の介助者が正しい方向へ持ち上げているか確認してください。

＜ガスダンパー調整＞



Panda Futura に使われているフレームには、角度や高さ調節ができるガスダンパーが付いています。　ティルトリクライニング又はフレーム昇降において下記の点が見られた場合、以下の手順にて調整を行ってください。

―ティルト角度又はフレームが自然に下がってくる
―ティルト角度又は昇降調節ができない。（動かない）



ティルト角度が自然に下がってくる：

1、17㎜ レンチでナット(B)を緩めてください。
2、バイスプライヤー等でピストン棒を座面側から見て反時計回りに締めてください。
3、再びナットで締めてください。

ティルト角度の調整ができない場合：

1、17㎜ レンチでナット（B）を緩めてください。
2、バイスプライヤー等でピストン棒を座面側から見て時計回りに緩めてください。
3、再びナットで締めてください。

> ⚠ ガスダンパーに圧力をかけたり、高温の場所に置いたり、また穴を開けたりしないでください。

上記対処方法は締めすぎ、緩めすぎにより大きく変わりますので、動きを確認しながら行ってください。

＜お車での移動（その１）＞

車椅子フレーム使用の Panda Futura は、お子様が車椅子に乗った状態のままお車で移動することが認可されております。その際は、前方に向いた状態でセットしてください。下記の点をお読み頂き安全にご使用ください。

⚠ 特別仕様の椅子の場合は、適用されませんのでお控えください。

スタンダードシートサイズ 1、2、2.5、3 にのみ有効です。
安全のため、以下の点にご注意ください。

⚠ できる限り、お車のシート（又はカーシート）に乗せた状態で移動されることをお薦めします。その際はシートベルトでしっかり固定してください。

⚠ この製品は、下記の力学試験を受けております。
ANSI/RESNA WC/Vol. 1
ISO 7176/19-2001

⚠ ４点式ストラップ固定システムを使用し、シートは常に正面に向けてください。

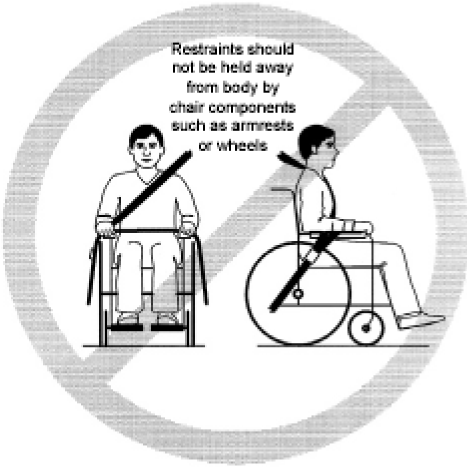
⚠ シートには３点式のベルトをご使用ください。
その際、ベルトの機能を妨げない為に、アームレストや車輪等のアクセサリーに緩衝しないようにしてください。

⚠ 前輪を固定する際には、向きを合わせてください。

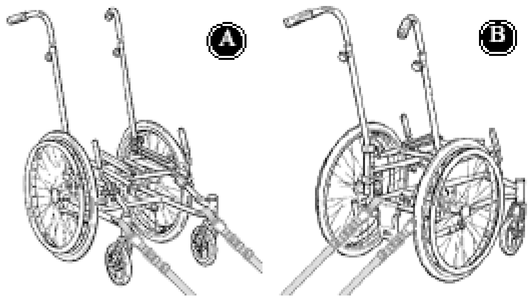
⚠ 車内では、アクセサリーはすべて取り外し、離して保管してください。取外しできないアクセサリーについては、アクセサリーとお子さまの間に緩衝材を挟み、安全に注意してください。

⚠ 車椅子の改造や部品交換をする際には、必ず販売店にご相談ください。

⚠ 車に何らかの衝撃があった場合には、次にお使いになる前に必ず販売店の製品チェックを受けてください。



＜お車での移動（その２）＞



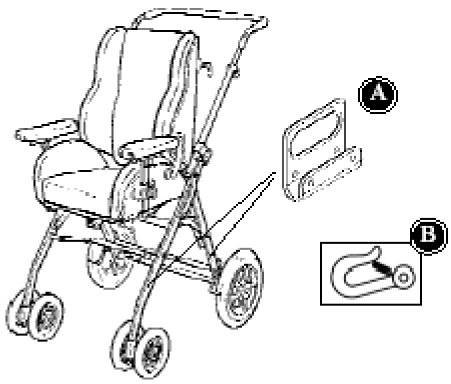
車内では、Panda シートを車椅子フレームに固定してください。

・車内では、４点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。
・４点式ストラップタイプ固定システムを使って、イスを車に固定してください。フレームの正面から見た様子は左図(A)を、背面は左図(B)を参考にイスを固定してください。

> ⚠ ４点式ストラップタイプ固定システムは、ISO 10542-2 の認可を受けたものをお使いください。

> ⚠ お車での移動の際のシート耐荷重は２２kg です。

イスにお子さまを乗せる方法については、19 ページをご覧ください。



Panda シートをバギーフレームに固定してください。

車内では、４点式ストラップタイプ固定システムを取付けてください。
バギーの両側に、(B)の様に取付具(A)をセットしてください。
４点式ストラップ固定システムを使って、椅子を車に固定してください。フック、もしくは取付具に通したストラップをお使いください。

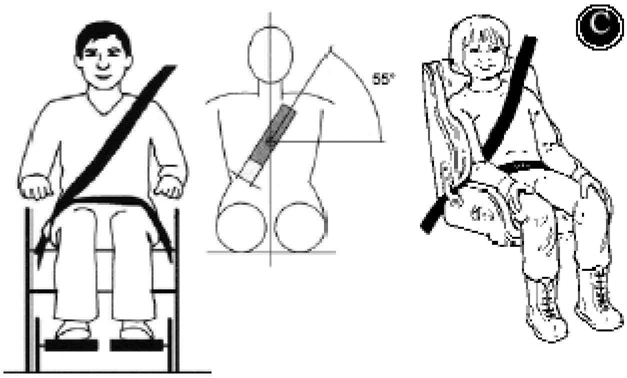
> ⚠ ４点式ストラップタイプ固定システムは、ISO 10542-2 の認可を受けたものをお使いください。

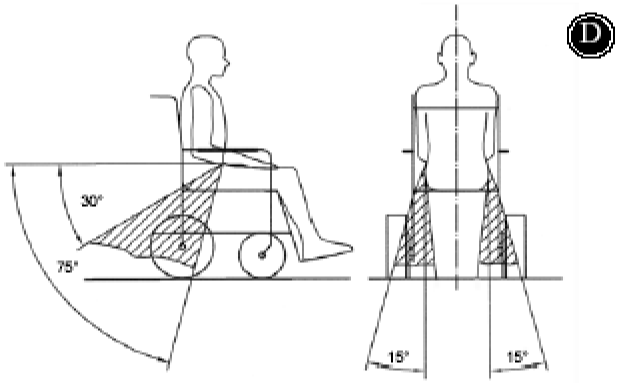
椅子にお子さまを乗せる方法については、19 ページをご覧下さい。

＜お車での移動（その３）＞

2.シートにお子さまを乗せてください。

・３点式ベルトをお使いください(図Ｃ)。
・３点式ベルトの角度と位置が変えられます（図Ｄ)。
・お子さまが苦しくない程度まで、ベルトをしっかり締めてください。ご使用中は、ベルトがねじれないようご注意ください。
•シートと背もたれに対して 90°の位置を保ち、シート全体を 18°まで後ろに倒すことをおすすめします。

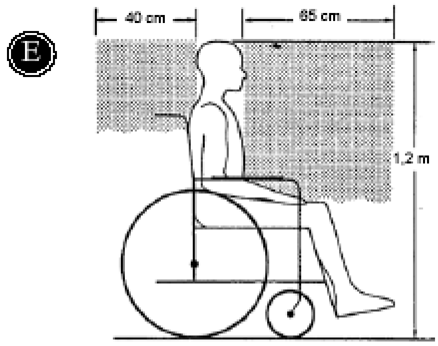




> ⚠ ISO 10542-1 の認可を受けた３点式のベルトをお使いください。

移動について：

・移動の前には、アクセサリーはすべて取外してください。
・正面に向いてお座りください。
・お車での移動の際のシート耐荷重は 22kg です。



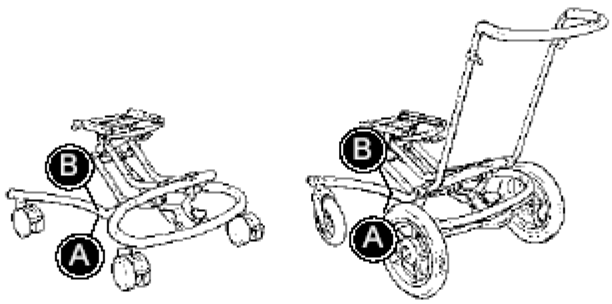
> ⚠ 車内でお子さまの位置を変える際には、図(E)の安全ゾーンをご参照ください。

＜製品識別＞

（ラベル貼付位置）







High－Low フレーム

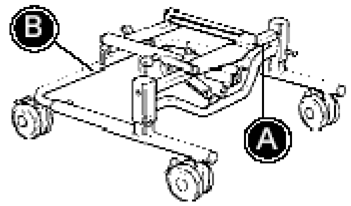
（屋内用／屋外用）

A)製造番号

フレームの左側

B)製造者名

フレームの左側



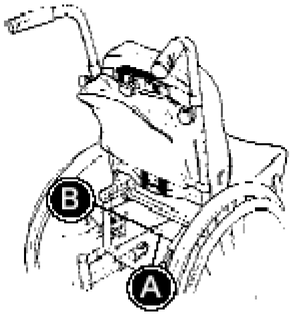
フロアーフレーム

A)製造番号

クロスバーの左側

B)製造者名

フレーム後方のクロスバーの中央部分



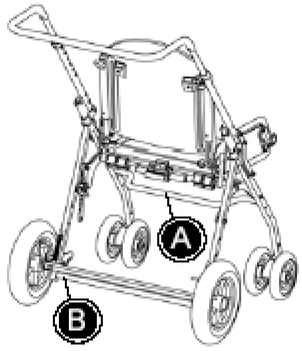
車椅子フレーム

A)製造番号

シート下のクロスバー

B)製造者名

シート下のクロスバー



バギーフレーム

A)製造番号

シート下のクロスバー上部

B)製造者名

後輪左のクロスバー

＜寸法＞

フレーム

	長さ (cm)	幅 (cm)	座面高 (cm)	対象サイズ (cm)	重量 (kg)	耐荷重 (kg)	シート角度
ﾌﾛｱﾌﾚｰﾑ	49	53	23	1/2/2.5/3/4	3.9	60	-15°～+20°
ｷｬｽﾀｰ付ﾌﾛｱﾌﾚｰﾑ	49	53	32	1/2/2.5/3/4	5.9	60	-15°～+20°
High－Low ﾌﾚｰﾑ(屋内用)	69	52-56	17-60	1/2/2.5/3/4	12.3	60	-10°～+30°
電動式 High－Low ﾌﾚｰﾑ(屋内用)	69	52-56	17-60	1/2/2.5/3/4	12.8	60	-10°～+30°
High－Low ﾌﾚｰﾑ(屋外用)	96-110	56-62	26-70	1/2/2.5/3/4	17.5	60	-10°～+30°
電動式 High－Low ﾌﾚｰﾑ(屋外用)	96-110	56-62	26-70	1/2/2.5/3/4	18.0	60	-10°～+30°
車椅子ﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 1)	84	59	44-50	1/2	10.9	90	-8°～+18°
車椅子ﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 2)	92	62	44-50	2/2.5/3	11.2	90	-8°～+18°
車椅子ﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 3)	100	67	44-50	3	11.9	90	-8°～+18°
ﾊﾞｷﾞｰﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 1)	104-114	53	43	1/2	11.0	35	-19°～+31°
ﾊﾞｷﾞｰﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 2)	106-116	64	43	2/2.5/3	11.0	50	-19°～+31°
ﾊﾞｷﾞｰﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 3)	97	71	53	4	13.3	90	-10°～+34°
前輪自在ｷｬｽﾀｰ付ﾊﾞｷﾞｰﾌﾚｰﾑ(ｻｲｽﾞ 3)	97	71	56	4	13.3	90	-10°～+34°

＜テクニカルデータ＞

フレーム：スチール製（クロミウム塗装）

＜製造者＞

R82 A/S
Parallelvej 3
8751 Gedved

＜販売店＞

<メンテナンス>

少なくとも月１回はタイヤを点検し、空気圧が下がっていたら空気を補充してください。
（標準空気圧は下記のとおりです）

High－Low フレーム（屋外用）	前輪：35PSI/250kPa　後輪：40PSI/2.5bar
車椅子フレーム	車輪：110PSI/250kPa
バギーフレーム	前輪：36PSI/2.5bar　後輪：36PSI/2.5bar

各開閉部分につきましては、少なくとも 6 ヵ月ごとにチェックと注油をしてください。

車輪についた汚れや泥を拭き取る際には、乾いた布をお使いください。塩素や変性アルコールを含む洗剤は使わないでください。

ドラム式ブレーキをお使いの場合には、正しくブレーキが作動するようにワイヤーを締めてください。少なくとも 6 ヵ月ごとに販売店による点検を受け、ネジなどの緩みがあれば締めてもらってください。

タイヤのスポーク関係は、定期的に販売店又はお近くの自転車修理店などの専門家に調節してもらってください。

ガスダンパーには、圧力をかけたり、高温の場所に置いたり、穴を開けたりないでください。

この取扱説明書に記載されていない調節につきましては、販売店にご相談ください。